

2017年（平成29年）12月5日

相 鉄 グ ル ー プ
株 式 会 社 高 島 屋

相鉄 × 高島屋 アクセラレーションプログラム（第2期）
「横浜“発・初”イノベーションプロジェクト」参加募集
「高感度」かつ「好感度」な“まちづくり”の実現に向け
協業いただけるベンチャー企業を募集

相鉄グループと、(株)高島屋（大阪市中区、代表取締役：木本茂）は、昨年引き続き「アクセラレーションプログラム」の第2期となる「横浜“発・初”イノベーションプロジェクト」を共同で実施し、2017年（平成29年）12月5日（火）から2018年（平成30年）2月4日（日）まで参加者を募集します。

相鉄・高島屋両グループは、横浜を今よりもっと快適で過ごしやすく、賑わいのある街にすることで、来街者の皆様にとって便利で楽しい時間を過ごせる「高感度」かつ「好感度」な“まちづくり”を目指しています。この“まちづくり”を実現するため、相鉄・高島屋両グループが持つ人や施設などのリソースに、ベンチャー企業が持つ自由で創造性に富んだ発想を掛け合わせることで、街を訪れる方にこれまで体験したことのない商品・サービスを提供したいと考えています。

「アクセラレーションプログラム（第1期）」では、42社からご応募をいただき、最終審査を経て採択された企業様各々と実証実験等を行って参りました。第2期では、横浜の新たな“まちづくり”の実現に向け、既存の事業領域に捉われずに幅広く設定し、相鉄・高島屋両グループの持つ豊富なリソースをもとにベンチャー企業との協業による「横浜“発・初”」となるイノベーションの創出を目指します。

本プログラムの概要は、別紙のとおりです。

◆ 募集する事業領域について

横浜の新たな“まちづくり”の実現に向けて、ベンチャー企業の皆様に主には以下のような事業領域に関する応募を期待しております。※記載以外の事業領域での応募も歓迎します。

<インバウンド>

訪日観光客の「旅前・旅中・旅後」の利便性を向上させるサービス、新たな体験や価値を提供するサービス

<エンターテインメント>

エンターテインメント施設の集客向上、新たな価値を生み出す先進的なコト消費を体験・提供するサービス、横浜の新名所となるエンターテインメントを提供するサービス

<ヘルスケア>

日々の健康促進に役立つサービス、医療・介護における利便性を高めるテクノロジーやサービス、来街者にヘルスケア領域で付加価値を創出させるサービス

<デジタルマーケティング>

I C Tの活用により来街者の利便性を向上させるサービス、AI や IoT、ウェアラブルなどの活用により、来街者が望んでいるモノ・コトを享受できるサービス

<生活・サービス>

リテール全般、子育て、宅配、セキュリティ、カルチャー、スクール、決済などの生活者の利便性や快適性を向上させるサービス

<交通・都市開発>

横浜駅周辺の利便性向上（交通・地図案内等）や不動産の有効活用、ビル耐久性向上やメンテナンス効率化など、都市の魅力度向上や安心安全を提供するサービス

◆ 活用いただけるリソース（一例）

本プログラムに採択された企業は、相鉄・高島屋両グループのさまざまなリソースを活用した、テストマーケティングをしていただくことができます。

※これらリソースの全ての利用をお約束できるものではありませんが、最大限応募者の皆さまの希望が叶うよう調整します。

【 商業施設・ホテル 】



高島屋でトップクラスの売上高
高島屋横浜店



日本で有数の売上高を誇るSC
JOINUS



相鉄線沿線住民の台所である
50店舗以上の
相鉄ローゼン



横浜駅西口前にあるグローバルブランド
横浜バイシェラトン
ホテル&タワーズ

【 交通 】



相鉄線・相鉄バスを乗降する
1日70万人の乗降データ

相鉄線・相鉄バス全ての
鉄道の駅 / 駅中スペース、
および全ての列車・バス車両

【 会員・利用者 】



JOINUS POINT CARD
TAKASHIMAYA CARD など

相鉄・高島屋グループの抱える
200万人以上の優良会員



購買情報として保存しているデータは
年間5,000万人以上

◆ アクセラレーションプログラム スケジュール (予定)



◆ 応募資格

- 相鉄・高島屋と共に横浜エリアの活性化に向けてフルコミットしていただけること。
- 概ね設立10年以内のベンチャー企業。
- 横浜駅西口を中心にテストマーケティングを行っていただけること。
- できる限り複数人で構成されるチームであること。
- 応募時点でプロダクト・サービスが存在していること。

◆ 応募条件

- 相鉄・高島屋両グループのリソースを活用したビジネスプランであること。
- 横浜エリアの集客増大、魅力度向上に寄与するアイデアであること。
- テストマーケティング・事業展開が横浜であれば、アクセラレーション期間後に全国展開するプランであっても可。

◆ その他

- デモ・デイ（最終プレゼンテーション）にて優秀な企業には賞金を授与。
- 応募が企業であれば、随時業務提携などを検討。

◆ オフィシャルウェブサイト（2017年12月5日開設予定）

<http://www.sotetsu-takashimaya-ap.com>

QRコード



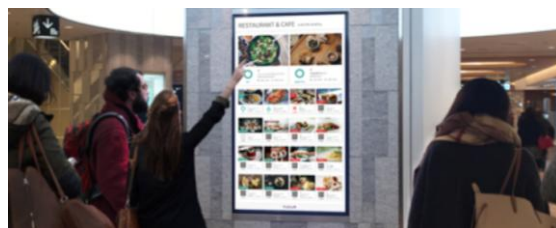
相鉄×高島屋アクセラレーションプログラム（第1期）主な取り組み実績

◆株式会社バカン 「空いているか1秒でわかる優しい世界」を実現する総合空席管理プラットフォーム

2017年8月9日（水）から同10月2日（月）まで、横浜駅西口の相鉄ジョイナス及び高島屋横浜店において、各施設内に点在する複数のレストランやカフェの空き状況が一目でわかるデジタルサイネージを設置し、お客様の店舗への送客状況や満足度を計測する実証実験を実施。

カメラを用いた画像解析やセンサーにより、それぞれの店舗の空席や行列の状況をクラウドで一括管理し、その情報をデジタルサイネージへ表示し、お客様に予め店舗の混雑情報をご案内するサービスを展開。

（現在、本格的なサービス導入を検討中）



（イメージ）

◆MAMORIO株式会社 「なくす、をなくす」モノがなくなる都市から始まるIoT先端都市の開発

2017年3月8日（水）より、同社が開発した紛失防止IoTデバイス「MAMORIO（マモリオ）」を百貨店で初めて高島屋横浜店で販売開始。合わせて、「高島屋横浜店1階遺失物・拾得物承り所」「相鉄ジョイナス防災センター」「相鉄ジョイナス地下街防災センター」の横浜駅西口3ヶ所と「相模鉄道二俣川駅 お忘れ物センター」「相鉄バス横浜営業所」の相鉄線沿線2ヶ所にMAMORIOアンテナを設置。

その後、高島屋港南台店、玉川店でも「MAMORIO（マモリオ）」を販売、さらに首都圏大手私鉄で幅広く導入されるとともに、横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズに

MAMORIOアンテナを設置するなど、「なくすを、なくす。」

IOTの先端都市づくりを進めている。



その他の第1期採択企業についても、横浜エリアの活性化に向けた具体策を検討中です。